

〈解答〉

- ① 1 しゅつぱん 2 おおうなばら 3 だんじき
 4 臨〔む〕 5 興亡 6 養蚕
- ② 1 〔季語〕 五月雨 〔季節〕 夏
 2 エ
 3 イ
 4 〔例〕 どうか食べないでください (12字)
 5 D

配点 ①、② 1、2 各1点、他は各2点 15点満点

〈解説〉

- ①
- 1 「出版」とは、書物や雑誌などを印刷物にして世の中に出すことをいう。
 - 2 「大海原」は、「大きく広々とした海」という意味。常用漢字表の付表にあげられている特別な読み方に注意する。
 - 3 「断食」とは、修行などのためにある期間中、食べ物を口にしないことをいう。このとき「食」は「しよく」とは読まないのに注意する。
 - 4 「臨」には「りん」という音読みに加えて「のぞ(む)」という訓読みがある。「高いところから見おろす」「その場に行く」という意味がある。
 - 5 「興亡」は、「(国家などが)興ったり亡びたりする」という意味で、反対の意味の漢字を組み合わせた熟語になっている。
 - 6 「養蚕」は「まゆをとるためにカイコを飼うこと」である。「養蚕を営む」で「絹糸の生産を職業にする」ということになる。最近ほとんど見かけないが、かつては多くの農家の屋根裏などでカイコが飼われていた。

- ②
- 1 芭蕉の有名な句であるが、季語の「五月雨」は梅雨(旧暦の五月ごろ)のことを指し、夏(旧暦の四〜六月)の季語である。
 - 2 「字余り(字足らず)」は定型の短歌や俳句で音数が規定より多い(少ない)ことを表す。うまく使うことで単調なリズムを壊して印象深くしたり、字余り(字足らず)の語を強調したりする狙いがある。
 - 3 句切れとは、短歌や俳句における意味の切れ目のことで、文末に句読点を打って二つの文章に分けられるかどうかで、そこに句点を入れることができる。Cは二句の最後に「や」という切れ字があるので、このことから二句切れだとわかる。
 - 4 この句が食糧難の戦時下で詠まれたことに注目する。春になり岩の上で遊ぶ蟹を、作者は食べ物として意識している。蟹が頭の上ではさみを合わせている姿は、まるで「食べないでください」と慈悲を乞うているかのようで、それでも空腹には勝てない状況に

やるせなさを覚えているのである。

5 Dの歌は「東海」の「小島」の「磯」の「白砂」と、だんだん大きなものから小さなものへと視点が移っている。また、「の」を連続させることでリズム感を生んでいる。